



グループ

研修の記録

川口南岩崎憲郎

私は、去る七月八日、と云われている山間地農
り、七月十六日までの九日、業に従事している仲間達
間、高知県青年の船に参加し、従事した動機について
し、台湾、沖縄に研修の旅
に行っていました。

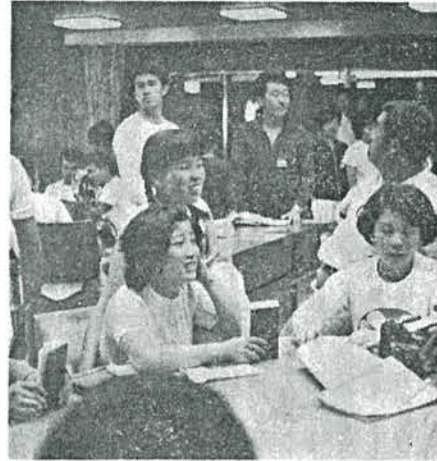
船内において、私は、
フォークダンス、農業問
題、新聞、報告書、音楽、
中国語と現地事情、レクリ
エーション、青年団活動の
グループに分れ、それぞれ
希望のグループにおいて県
内各地の青年と親睦を深め
るとともに、共通の課題に
ついて研究・討論会を行な
っていました。

私の属した農業問題のグ
ループでは、人数が多い開
係で二組に分れてはという
意見で分れることとなりま
した。農業は、やはり立地
条件が最大の問題となりま
すので、山間地農業と平地
農業のグループに分れ、
私は山間地農業グループに
入りました。

最初に、現在斜陽化にあ
る山間地農業について、実
際には現在の人口でもわれ
わ



船室で農業問題について論議する青年



楽しい話し合い

れ若い経営者が経営を立て
るだけの規模拡大をするた
めには多すぎる、まだ人口
が減少するべきだ。また
「人口減少に伴う不景気地
帯に組合というものがなく農
産物は市場に個人出荷してい
る若者の手に、まともな
ように、県・国の政策的な
配慮が必要だ。」というよ
うな意見が出され、この点
について数多くの意見・要
望が出され大いに議論に熱
が入りました。



蒋介石總統の権威を示す総統府

船内での

グループ活動

大豊村青年団副団長

上村いづ子

船内の研修の中で最も多
いのがグループ研修でし
た。グループ研修は各団員
の希望にもとづいて八つの
グループに分かれ、十時間
き議論しましたが、あまり
余りのあいだに、「青年団
体活動について」と、「話
し合いのルールについて」
が、必修となっておりまし
た。私の所属はフォークダ
ンスグループでした。私達

最後の全体会において兩
グループとも、現在変革期
にあると云われる農業の問
題の大きさを改めて認識
し、自分の力に頼るだけで
は行かないと決意を述べた。
自分自身で考え、行動する
ことが大切だと感じた。自
分の力で生きていくことが
大切だと感じた。自分の力
で生きていくことが大切だ
と感じた。自分の力で生き
ていくことが大切だと感
じた。自分の力で生きてい
くことが大切だと感じた。

台湾の文化と顔

大田口青年団長 竹内良二

中いたる所に「反共……」
と反共主義のスローガン
が目にとまる。この国の歴
史をたどると一五四
四年にポルトガルの航海者
が、台湾海峡を通過すると
き「イリヤ・フォルモサ」
(Ilha Formosa)「麗わ
しい島」と呼んで以来、ヨ
ロッパ人は台湾をフォル
モサと呼ぶようになった
とか、また、現在外交面
において、アメリカ第一、日
本を第二に重視して、反共
の立場から「タカ派」的態
度をとっているが、国連の
中国代表権を維持するため
アジア、アフリカ、ラテン
アメリカ諸国にも積極的外
交を展開している。と色々
な向うとの歴史・文化を聞
かされた。土地改革資料館
では、台湾を説明する
生活状態、中国と台湾との
土地改革の経過をわかりや
すく図解したものがある。
ある絵には、小作人が地主
に六〇％の作物を取られて
は地主から土地を国が買い
上げた型で小作人が長期の
返済で改革を行なっている
の農民は見た目よりも裕
福なようだ。

何とも見聞
し、何とも感
収し、何とも
若者の「青年
の船」一行
は、みなさん
の期待と支援
のもとに須崎
港を八日後
五時出帆し
た。
最初の一日
は頭がフラフ
ラして酒によ
ったような気
持でしたが船
内の雰囲気同
じな仲間員
もなれ同様に
上意気投合し、研修に交
換会に充実した日々を送
った。

三日月の午後
中華民国、台湾省にある
基隆港に着いた。一番先
目に目にしたのが一万トンか
ら二万トン級の貨物船、湾
内に入るに当たって軍艦
が目につくようになった。
目もって湾内での撮影は禁
止といわれていただけであ
る。やはり軍港であり緊張
感を覚える。周辺の建物を見
ると戦前の古いビルディ
ングが沈黙ムードに建並
んで、ある建物の上には
SAYOのカンパがが
かっていた。
翌日観光バスで台北市を
通りぬけ桃園市の土地改革
の資料館に向かった。途

資料館を見学
その後台北に引き返し昼
食をとった。昼食にはジ
ンスカン料理を食べ、牛
羊・猪・トリの肉をそれぞ
れ陳列してあるものを各自
がとり、次に野菜……蝦
油……とに油……とに油……
料理で割合にカラシがきい
ている。暑いので体力をつ
けるために油……と油……
汗を流すために油……と
いるのである。

台湾最後の日に
台北市のはずれにある
「国立故宮博物院」を見学
した。この建物は中国の美
術館で今から六年前に建て
られた。その中にある美術
品は約三十万点あり、内八
千点を展示している。三ヶ
月に一回模様替えをし、残
りの美術品は博物館の裏山
に長く穴が掘られてあり、
いつとなくとも美術品
だけは後世に残るようとし
てある。これらに保存され
てある物品は、書籍、書、
画、陶磁、玉、金銀工芸
品、服飾、染織、漆器、文
房具、家具などでは三
代統一して作られた芸術品
もあり、中国人のねばり強
さ、気長さがうかがわれ
る。
平民の生活は
貧困の差が厳しく、表通
りには幅五十メートルくらい

台湾の短い旅

大豊4HCC会長

宮内 勇



台湾での交歓会出の「仙女の舞」

村内青年の一人として高知県「青年の船」に乗船させていただきました。村民のみならず4Hクラブの期待に對して強く責任を感じております。台湾のことと言えども二位では真の事情はわかりかねます。高知県を離れて三日目

(七月十日)夕刻基隆へ入

港、生まれて初めての海外旅行に胸を膨らまし、異国の地に第一歩を踏み入れました。入港前より軍港であるため(太平洋戦争中は日本軍の重要な基地)所々軍の監視所があり大砲が設置されている。また港内には大小の商船や灰色をした軍艦が目につきました。入国手続の後、港のターミナルで一時間位の自由時間が許され、外国人向けには二、三倍増しをされているから値切れという予備知識のもと、換算表片手に買物に

精出す。多少は安く買ったが、貨幣が円、ドル、台湾ドル(一ドル十円)ともに通用するので得をしているのか損をしているのかわからなくなりました。それでも日本人のすばしこさはターミナルに金を大分おとしたようです。なお基隆市は夜間運は厳禁がしなれ外出はできません。翌朝現地のガイドで九合のバスに乗り台湾唯一のハイウェイ「マッカーサー道路」(外国人の名前がついている)をおかしと問題になっている。一路桃園市の土地改革資料陳列館へと向う。レンタカーの家族が見え水稲の取り入れ風景がいたる所で見られ水牛も活躍していた。県内には走っていないような旧式の日本製自動車が多く驚かされた。自動車は新車日本製の三台位、自家用車としてほとんど使われていない。台湾は臨戦態勢にある



船内でのひととき

では十年ほど前の日本の農業のようでした。しかしのんびりとした公害のない良きを感じた。農業の機械化をすれば多くの失業者が出るためほとんど導入されていません。

台北市内の高級レストランで夕食にジンギスカン料理を食べたが、むづかきまりうまきと思わなかったが、今に思えばあの味も忘れられない。

孔子像をまつる孔子廟、蒋介石の権威を示すかのようにつくられた国民党の總統府(レンガ造りの建物)龍山寺等を見学した後、青年の船事業に私達が一番期待を寄せていた異国の仲間と話す交歓会々々へと急ぐ。

土地資料館には、土地改革の経過を説明するパネルが並び、漢字と英語ばかりで理解に苦しみし

た。模範農家見学、稲の取り入れで忙がしいとき訪問しました。丁度農家で食事の仕度をしており、大きなくわに太いナベをかけるわら(まきのかわり)の燃料にはびっくりしました。この家はレンガ造りの一部二階建て「コ」の字型になっていました。家の中は薄暗く割合に涼しい。居間には日本製のテレビと洗濯機が置かれていました。これがあればこのあたりでは上流家庭のことです。家族構成は核家族でなく七、十二才の主人を頭に四十二名、現在三十二名が一つの屋根の下に暮らして農業に従事している。耕作面積は平均一戸当たり一町一反七畝で、この農家は三町六反位を耕作しています。台湾においては南部では稲作が三回もた北部では二期作が行なわれています。稲収量は町当たり三千三百キロ位で年間の所得は百万円位です。この収入で三十二名の生活が成り立つそうです。なお国防費に莫大な費用が必要なため住民は多額の税金を納めていて、農業を見た限り



研修後も議論する青年達

請で初めの予定より早い出発となる。やはり戦時下の国の感じは最後までつきま

た。今「青年の船」での体験より県下各地の青年と手を取りあ

う。明日の仲になり成功のうちに

を終りました。演物のなか

で、わが村の「大刀おど

り」を三谷、竹内両君が披露して好評を博したことを

伝えました。

待望の船まつり、九班に分れての対抗というこ

とで、若い熱気を狭い舞台に

い、なかなか気分にな

ったところで交歓に入りまし

た。政治問題はめきに

若人の友情を結ぶかたちで

話し合い、少ない時間では

たが、別が惜しい時間では

どの仲になり成功のうちに

を終りました。演物のなか

で、わが村の「大刀おど

り」を三谷、竹内両君が披露して好評を博したことを

伝えました。

待望の船まつり、九班に分れての対抗というこ

とで、若い熱気を狭い舞台に

い、なかなか気分にな

ったところで交歓に入りまし

た。政治問題はめきに

若人の友情を結ぶかたちで

話し合い、少ない時間では

たが、別が惜しい時間では

どの仲になり成功のうちに

を終りました。演物のなか

で、わが村の「大刀おど

り」を三谷、竹内両君が披露して好評を博したことを

伝えました。

待望の船まつり、九班に分れての対抗というこ

とで、若い熱気を狭い舞台に

い、なかなか気分にな

ったところで交歓に入りまし

た。政治問題はめきに

若人の友情を結ぶかたちで

話し合い、少ない時間では

たが、別が惜しい時間では

どの仲になり成功のうちに

を終りました。演物のなか

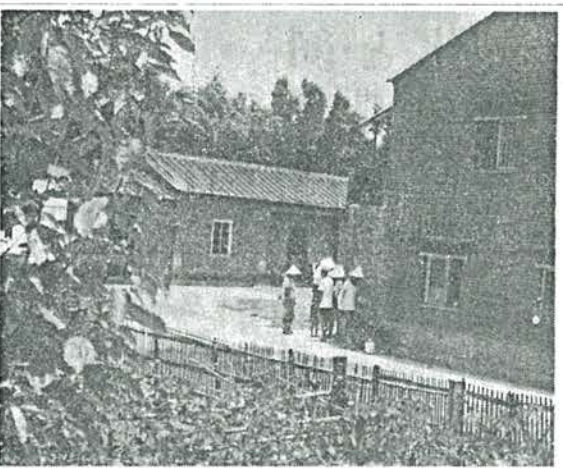
で、わが村の「大刀おど

り」を三谷、竹内両君が披露して好評を博したことを

台湾の農業事情

大豊村4HCC事務局長

豊 永 明 男



台湾の農家風景

南國の青い空、灼熱の太陽は、私達が想像したとおりの山が多く、いやそれ以上に、すばらしい所でした。鏡のように海面に切り立った島、みどりの山々……しかし、キールンの港に入港するに、側には灰色の軍艦のぶきみ、その向うで見るらしい稲の収穫風景を見ることができました。台湾では大家族制で三十人から四十人の家族をもっています。多数の者で刈り取り、すぐそばで六、七人が足踏式脱穀機でこ

なくとも同じようです。少しくとすく次の場所へ引っぱって行く、このように列の所へ脱穀機を持ちまわっているようです。

またもみは老人が家に持ってすり鉢にそのまみろけて乾かして利用していた合リヤカールを利用しては、婦人の役目で、えぶりのようなもので、たけこの皮で作ったばうしをかぶって混ぜながら乾かして

た。このように収穫はちやうどコンバインと乾燥機をセットしたように一度に行なわれていたが、ただ一つがうところは全部人力にたよっている点だ。

農地は基盤整備が行なわれてなく、機械化は足踏式脱穀機にエンジンを取りつけ程度で我が国に比べて大

船内研修で 培われた友情

怒 田 下 村 宏 治

船での生活は「とじこめられた部屋」という船独特の雰囲気、同員一同、陸に何事にも協力して親密な関係を築き上げてい

た。六時ねむい目をこすり起床、ねむくない目をこすり

のきびしい研修日程でした。しかし若い仲間、少

の自由時間も、ともに語ります。訪問先で感じたこ

とや出来事や、職業は違っ

ていてもお互いに機むこと

を許されてお土産に精

出した。

七月十二日昨日同様バスに分乗して、世界一とさ

言われる国立故宮博物院へ

と向う。山の腹に王宮を

思わすような豪華な建物で

展示品には、台湾のこの

た北部では稲作が三回も

られています。稲収量は町

当り三町六反位を耕作し

ています。稲収量は町当

り三千三百キロ位で年間の

所得は百万円位です。この

収入で三十二名の生活が

成り立つそうです。なお国

防費に莫大な費用が必要な

ため住民は多額の税金を納

めていて、農業を見た限り

は、港を出て「マッカーサ

道路」と呼ばれるハイウ

ェーを出発すると、ここ

は、何かにあてがったと思

うと同時に、若者は、何を

求めてゆけばよいのか疑問

が心をかすめます。若い

人……。すぐに終ってしま

います。今の日本では、あ

まり自由すぎて目標を見

失ったか。

私達が訪れた桃園の農家

では四十二人の家族がコ

の字形の赤レンガ造りの家

で生活していた。そして一

部屋に二所帯が暮らしてい

た。家の中心に祭壇を造

った。客をもてなしや、先祖

祭を行なうそうです。たい

ての祭壇はうす暗いのに最

も裕福と見られる部屋に日

本のテレビをそえた。明る

い部屋が目についた。

また裏にはハイビスカス

の赤い花が咲きだれ、水

路にはアヒルが遊ぶとい

つた感じがしました。また

小さな男の子が牛をひい

てのよう目についた。

このようにほとんど稲

についてだけのべました

が、台湾北部では稲を二回

(南部では三回)作るほ

長州 志士 富永有隣と土佐

(3)

県文化財専門委員

橋詰 延寿

有隣 岩

富永有隣は、嶺北の大豊村に落ちのびてこの地に潜伏した。今の豊永利男さんの家やその分家の小松半蔵(現在堀内五八八番地小松忠一さん)や、その他の縁故者を訪ね、一週間から二週間お世話になると、また次へと移る。しかもその行動は全部夜間である。屈強の護衛を二三名同伴し、人目をしのぎの移動であ

る。それでも、いよいよとこの時は有隣岩をかくれ場所とした。有隣岩は、今の豊永利男さんの家の奥の山道から、奥大田へぬける山道の近くにある。登りはゆるり三十分ほどかかった。土地の人なら十五、六分で行けるところである。私は中西盛興、大田栄、小笠原四郎さんらとともに豊永利男さんの案内で山道を歩く。昔は馬や人通り

三段の大岩穴

これを真すぐにあがると奥大田へ越す峠に出る。山道の分岐点で小休。山の九合目と思われるところを、この山道からわかれて左手へまわる。すぐ有隣岩だ。しかし道らしい道はない。ただ豊永さんが私たちにめいめいわざわ下からこまめ草を刈りわけ、枝を伐ってくれたのが見える。この配慮を感謝しながら進む。問題の有隣岩に入る。山肌がそのまま大きな岩盤である。それに人間がらくらくと入る大穴があいていて、それを進む。若干のまがりくねりと上り下りはあるがかなり広い。ところがこの穴は一方にぬけることができず、入口の穴よりずっと大きい穴が反対側に口を開いている。そこに降りる。そしてまた反転して

有隣の話

私は下の穴へもぐる時苦勞をした。これは最近岩の破片が落ちてきて、一番奥への入口をつぶしている。腹ばいだと頭と背がつかえ。先頭の誰かがやったように私も上向きに背を地面にして寝る姿で足から先に進む。腹ばいでなく背ばいである。ほふく(匍匐)前進ではなく背ふく前進である。くずれた岩のゴミがぼろぼろ顔にかかる。眼をとじて入った。何処かの岩角でズボンを引きかけて破れた音がして、一年十一月有隣が捕らされた。あとで豊永の奥さんが「縫い直し」と親切に



大久保の桑名邸三郎さんに保存されている富永有隣が描いた傑作集

は小学校のとき、この有隣岩に遠足に来ました。と、いう年輩組もいる。「有隣岩のことはいくつか聞いてはいたが、来て見たのは今回が初めて」という若い人もいた。大きな岩窟、二段になった岩穴、下の穴はさらに二段、この三段の大岩を有隣に教えたのも土地の人達だろう。有隣を眺めるためにここを教えたものであろう。脚下では吉野川の水、南北両岸は四国山脈の峻嶒が、大波のように東西に走っている。汽車もなかった明治初年の当時、国道三十二号線もなかった当時、この大自然の山ふところこそ、落人の住むにはあつたといふ、地であつたことと、それからまた分家へ帰ってくる。

記念の標柱を

「有隣は夕方、分家の小松で風呂に入つて、この山道を一入有隣岩に行つたといふ。そして時々は、一泊、時には二泊、三泊、それからまた分家へ帰ってくる。



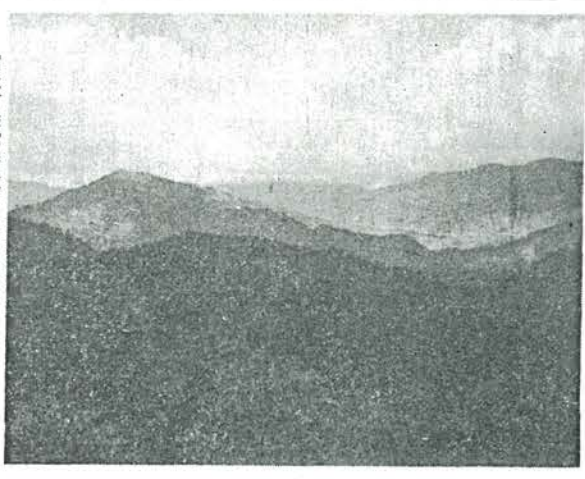
富永有隣が豊永郷にかくれている間、気のむくままに描いた傑作の一つ

行政 相談室を開きます

人権擁護委員小笠原圭恵 談にも応じますので遠慮なく相談においで下さい。行政相談員 佐竹 繁晴 山中ヤスコ 私たち委員は、みなさんから人権や行政に関する相談がありましたら速に相談に応じ、迅速に秘密裡に解決に努力しております。人権とは、一口にいえば国家社会において幸福な生活を送るのに必要な人間としての固有の権利といふことです。別の面からいえばすべての人間が生まれながらに持っている能力を日々生活の中で最大限に發揮

自衛官募集集中

一、身分 国家公務員であり、充実した生活が保障されます。二、待遇 初任給二五、一〇〇円 賞与年三回(四・七・十月) 他に手当あり(衣、食、住無料) 三、特典 (1)法定免許は誰でもとれます。 (2)任期満了後の就職は優遇されています。 (3)自分では解らない潜在的な能力がフルに発揮できます。 (4)優れた設備で高度な技術が身に付きます。 (5)万一不慮の場合も保障は万全です。 (6)若人のフーリング満喫できます。 生活環境は抜群で快適な生活が過せる自衛官へ。詳細は役場住民課へおたずね下さい。 問い合わせ 高知市稲荷町三三番地 高知県内職補導相談所 TEL二二二二二二 内線 三三七



富永有隣が潜伏した豊永連峰

繭質改善が急務

大豊蚕業指導所から警告

わが国の蚕業の発展は繭質の増進によって支えられている。今後はさらに中興、韓国等からの輸入や糸備、繭質の問題、国内原料繭の生産確保等数多くの問題が生じてくるが、これにこたえなければならぬ。繭質の改善は急務である。大豊村は繭生産高において本県の三割を占めてはいるが、その品質においては県下最低であり相反した現象である。農家所得の向上のためにも繭質の改善を強力にすすめる必要がある。以下繭質改善についてその実態と対策について述べるので協力をお願いする。 ○四十五年度の繭質と繭収入 繭は検定所においてその品位を調査し、定められた格付けによって価格がきめられていく。大豊村の繭は不徹底や飼育上の失敗から上級中に発病する蚕が多くなり、さらには最高まで引き上げると約二千七百万円の増収となる。

45年の実績 (春繭検定成績)									
項目	生歩	量歩	繭格	解歩	上繭	1kg	繭歩	繭歩	繭歩
県最高	19.83	優	81	1,215	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩
県最低	12.60	4.00	35	754	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩
県平均	18.72	1.40	64	1,134	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩
大豊村	17.97	2.22	50	1,080	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩	繭歩

大豊村の繭質を県平均まで改善した場合 (試算)									
蚕期別	最高	最低	平均	大豊村	平均	増収	増収	増収	増収
春秋	1,215	754	1,138	1,086	7,805	720	7,085	720	7,085
初晩	1,237	1,024	1,155	1,151	98,452	452	97,468	452	97,468
計	1,227	1,020	1,159	1,143	1,138,304	904	1,137,176	904	1,137,176

(注) 県最高まで引き上げると27,457,004円増

(3) 扇風機によって気流をおこし換気をはかる。